

65歳以上の高齢者の4人に1人が“認知症”と“その予備軍(軽度認知障害(MCI))”

簡易検査で、軽度認知障害(MCI)を早期に発見できる！

日本初！10分間の電話でわかる軽度認知障害の検査

『軽度認知障害スクリーニングテスト(あたまの健康チェック)』の発売・提供を9月1日から開始

多くの企業・自治体・医療機関・団体などへ軽度認知症スクリーニングテストの普及を図り、認知症の予防を目指す

電話による健康相談のリーディングカンパニー、ティーペック株式会社(本社：東京都千代田区 代表取締役社長：砂原 健市)は、米国で研究・開発されすでに高い評価を得ている認知機能チェックテストの日本語版を保有する株式会社ミレニアと提携し、これまで判別が困難だった認知症の「前駆段階」とされる軽度認知障害(MCI)を、電話による10分程度の質問を行うだけで判別できる軽度認知障害の検査『軽度認知障害スクリーニングテスト(あたまの健康チェック)』(以下略称「MCIS」)の一般生活者への発売および、企業・自治体などへの提供を、日本で初めて2013年9月1日より開始いたします。

厚生労働省の調査によると、65歳以上の高齢者のうち認知症の人は推計15%で、2012年時点で約462万人に上り、さらに認知症になる可能性がある軽度認知障害の高齢者も約400万人と、65歳以上の高齢者の4人に1人が認知症もしくは軽度認知障害と推定されています。また認知症高齢者数は2002年から2012年の10年間で倍増しており、2025年には認知症が人口の4%を占めると推定され、認知症および軽度認知障害に関する早急な対応が求められていると、当社は考えております。

当社では、「加齢に伴う正常な物忘れ」と「認知症の前駆段階とよばれる軽度認知障害」を、電話による10分程度の質問を行うだけで、97.3%の高精度で判別することができる検査『MCIS』を通じて、軽度認知障害を早期に発見いたします。また、軽度認知障害と判別された方に対して、軽度認知障害に関する正しい情報提供、生活習慣に対する指導や治療、定期的な『MCIS』の受検など、早期に適切な予防や治療を実施することを指導し、認知症の発症予防や遅延、さらにはトレーニングや運動を通じた軽度認知障害の軽快ないし完治へと繋げてまいります。

また、『MCIS』の開始により、今までは病院に通い長時間と高額な費用を要していた検査を、短時間かつ安い費用で、いつでも・どこでも・誰でも簡単に受けることが可能となります。

現在、先行して一部の自治体(愛知県尾張旭市：WHO健康都市)や医療機関(医療法人社団山形愛心会、医療法人社団愛優会等)にて『MCIS』をご利用いただいております。従来の検査では見逃しやすかった軽度認知障害を9割以上の確率で発見できる検査結果や、受検された方から「最近、物忘れが多く不安だったが、チェックを受けて安心できた」「結果がわかりやすく、生活習慣に気をつけて過ごしたいと思った」などの感想が寄せられるなど、好評を博していることもあり、『MCIS』への今後の期待値も高い様子です。

今後当社では、自動車メーカーやタクシー会社の認知症ないし軽度認知障害を持つ従業員の存在がリスクとなる業種を始めとする、軽度認知障害が潜在する可能性があるシニア層を顧客に持つスポーツジムなど、認知症との関わりが密接な企業、自治体、医療機関、団体等へ『MCIS』の普及(提供)を図ることで、より多くの一般の方々に『MCIS』を受けていただける環境を構築するべく、努めてまいります。さらに、軽度認知障害は適切な脳のトレーニングや運動療法等の生活習慣改善により軽快ないし完治の可能性があることから、脳を刺激して認知機能低下の回復を促進するカルチャークラブや運動指導等の取り組みを実施できるフィットネスクラブなどとの連携を強化するなど、本取り組みを通じて、厚生労働省認知症施策推進5か年計画【オレンジプラン】を応援していきます。

本サービスのお問い合わせ先

『MCIS 専用窓口』

TEL : 03-3839-1105

URL : <http://t-pec.co.jp>

【軽度認知障害スクリーニングテスト(あたまの健康チェック)】

◆ 目的

『MCIS』の普及を図ることで、軽度認知障害の早期発見に繋げ、軽度認知障害と判別された方に対して、軽度認知障害に関する正しい説明、生活習慣に対する指導や治療、定期的な『MCIS』の受検など、早期に適切な予防や治療を実施することで、認知症の発症予防や遅延へと繋げてまいります。

◆ 概要

『MCIS』は、米国国立老化研究所が推奨する国際的認知症診断ツールである CERAD バッテリー10 word recall をベースに米国 Medical Care Corporation 社が研究・開発した認知機能チェックテストを使用しています。「加齢に伴う正常なもの忘れ」と「認知症の前駆段階とされる軽度認知障害」を、電話による10分程度の質問を行うだけで、MCI リスクの有無に加え、MPI と呼ばれる認知機能指数が対象者の性別、年齢、学習年数、人種、同年齢グループでの認知症発症率、テスト回答パターンから人口統計学的に自動算出され、検査結果としてレポートされます。

◆ 正確性

米国カリフォルニア州 Hoag (ホーグ) 記念病院脳神経科学研究所 Dr.Shankle (シャンクル) らによる各種画像診断などとの正確性比較実証調査の結果、これまで 専門医による画像診断以外では判別が困難であった軽度認知障害と自然老化による物忘れとを 97.3% の精度で判別ができることが学術データとしても証明されています。

また、日本語版の開発に際しては言語学者も介入し、原版テストとの等価性が保たれるよう配慮され、日本語版の精度検証は福岡大学医学部神経内科学山田医師グループにより行われ、原版と同等の 96% の感度が確認され、日米両国で文献ジャーナル上でも発表されております。

◆ 内容(MCIS 受検の流れ)

1. 専用窓口より受検証書を購入
2. あたまの健康チェックセンターに電話にて連絡
3. 受検証書に記載の PIN 番号(証書番号)をオペレーターへ連絡
4. 受検者の基本情報や結果レポート郵送先などについてオペレーターが確認
5. オペレーターの指示に従い、約10分程度のテストを受検
6. テスト終了後、結果レポートが受検者宛に届く
7. 軽度認知障害と判別された方に対して、専門医療機関のご案内や認知症に関する電話健康相談

◆ 発売場所/時間

『MCIS』の専用窓口(専用受付ダイヤル: 03-3839-1105/9時~17時にて対応)

◆ 価格

3,500円(税別) / 一回の受検費用

◆ その他

企業、自治体、医療機関、団体等への提供を受け付けており、要望に応じた実施方法の設計、提案も可能

【軽度認知障害(MCI: Mild Cognitive Impairment)】

軽度認知障害(MCI: Mild Cognitive Impairment)は、これまで判別が困難だった認知症の「前駆段階」を意味しております。また、MCI と認知症は共に特定の疾患ではなく認知機能低下症状におけるステージを示すもので一般的には潜在的な疾患やコンディションが引き金となります。厚生労働省などでは食生活改善や適度な運動など生活習慣の改善、社会的交流を増やすなど防御要因の強化を、早期に取り組むことを予防策として提案しています。

なお、軽度認知障害が発見された場合においても、生活習慣の改善や創作活動などの脳のトレーニング、体を使った運動等により、進行の停止・遅延ばかりでなく、障害が軽快ないし回復するケースが多くあることが確認されております。

すなわち軽度認知障害は、軽度のうちに発見し適切な対処を行うことで、認知症への進行を食い止めるばかりでなく、回復することも可能です。

■ティーペック株式会社について

電話による健康相談事業を全国で展開するティーペックは、過去 25 年にわたり、1,000 万件以上の健康相談を受けてきた実績を活かし、総勢で 345 名もの医療従事者（医師、看護師、保健師等）が、お客様の「心」と「体」のご相談にお応えするサービスを 24 時間無休で提供する会社です。

【会社概要】

会社名	ティーペック株式会社
所在地	〒101-0021 東京都千代田区外神田 5 丁目 2 番 1 号 S ビル
連絡先	TEL : 03-3839-1100 FAX : 03-3839-1101
設立年月日	1989 年（平成元年）6 月 15 日
代表取締役社長	砂原 健市（すなはら けんいち）
資本金	2 億 5 千万円
決算期	8 月
従業員数	169 名
相談スタッフ	345 名
事業内容	電話による健康相談ほか、医療関連サービス及び EAP 関連サービス
主な契約先：	官公庁や地方自治体 健康保険組合 共済組合 民間企業（EAP） 保険会社 カード会社 金融機関など
URL	http://www.t-pec.co.jp

2013 年 8 月現在

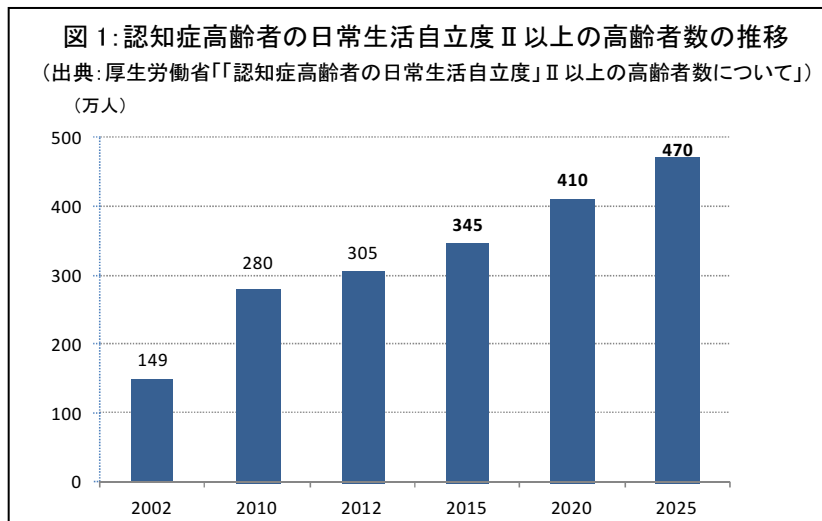
【電話健康相談実績】

全相談件数:14,803,726 件／全認知症関連相談件数：41,217 件

ご参考資料

【認知症高齢者数の推移について】

厚生労働省が 2012 年 8 月に発表した「認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上の高齢者数について」によると、認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上の高齢者数は、2002 年 149 万人で、2012 年は 305 万人と推計され、この 10 年で倍増しております。また、2025 年には認知症が人口の 4%を占めると推計しています。（図 1 参照）



【認知症と軽度認知障害 (MCI) の高齢者に関する実態】

厚生労働省研究班が 2013 年 6 月に発表した「認知症有病率等の調査」によると、65 歳以上の高齢者のうち、全国の認知症有病率推定値は 15%で、2012 年時点で約 462 万人に上ることが分かりました。また、認知症になる可能性がある軽度認知障害 (MCI) の全国のお有病率推定値は 13%で、2012 年時点で約 400 万人いると推計されており、65 歳以上の 4 人に 1 人が「認知症」と「その予備軍 (軽度認知障害 (MCI))」となります。（図 2 参照）

